

## Kochi City Scenery Design Award

# 高知市都市美デザイン賞受賞作品

第21回（2005年）

### —全体講評—

今回の応募件数は一般建築部門15件、住宅建築部門15件で件数は例年並ではあるが、住宅建築部門の木造一戸建て住宅の水準がレベルアップしてきている印象を受ける。各部門毎に1次・2次審査を経て入賞2点が選ばれた。今回も特賞は該当無しであった。

入賞作品は両部門とも建築デザインや建築材料などの建築そのものの完成度とともに、外構部のデザインや植栽など周辺環境への配慮において高い評価を受けたものである。

また、これまでの入賞作品は高知の地域性、特に地場産材が多用されたものが多かったが、今回、入賞した「光と風をむかえる家」はそればかりではなく様々な材料をデザイン力で調和させた新しい都市美住宅として高く評価された。

今回入賞を逃したものの審査の中で評価された作品を挙げると、一般建築部門では「城西中学校」で、近年、学校犯罪の多発により、ややもすれば閉鎖的な傾向がある中で、地域への開放性を取ってポリシーと考え、低木の植栽、低い石積みなどが施されていることが評価された。しかし総合的な都市美という観点からは入賞作品には及ばなかった。住宅建築部門では「土間でつなぐ家」も、日本瓦葺、木造、漆喰壁に開口部の木格子がアクセントになり、新興住宅地の緑の稲穂に映え、建築の完成度も高く、玄関、駐車場の開放性も評価され、入賞作品と遜色ない作品であった。

### 一般建築部門 入賞

さわだ耳鼻咽喉科

福井町



- 建築主： 澤田 正一
- 設計者： 有限会社 艸建築工房
- 施工者： 四国開発株式会社

地域の小規模な診療所である。コンクリートのピロティ形式で、2階の壁面にはグレイの下見板に縦目地の木を使い、見る角度によって変化し、建物にリズム感がある。全体としてシンプルで、ピロティと木の組み合わせも新鮮であり、独創的な建築美を追求し、建築の完成度が高く都市美に貢献している。バックの斜面壁のコンクリートをカバーする植栽や前面に配された木々が成長すれば、さらなる都市美への貢献が期待できる。

ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち

池



- 建築主： 財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン デン・フジタ財団
- 設計者： 株式会社 佐藤秀一級建築士事務所
- 施工者： 株式会社 佐藤秀

高知医療センターの大建築に対して、低層の宿泊施設を包み込むような緩やかなカーブの木の塀が周辺環境を柔らかく、暖かく感じさせる建築である。建物の機能上、ある程度のプライバシーを確保しつつ、閉鎖性を感じさせないよう配慮されている。医療センターの上層階からみても周辺の緑の環境に溶け込んでいる。小規模ながら存在感を示し、今後建設されるであろう周辺建物にも影響を与えられる建築物である。

## 住宅建築部門 入賞

### 正木邸

南久万



- 建築主： 正木 一臣
- 設計者： 聖建築研究所
- 施工者： 有限会社 北村工務店

木と漆喰の住宅と、両脇に設けたコンクリート塀・植栽との調和が周辺の町並みにゆとりと潤いをもたらしている。駐車場や玄関周りの細部に木をたっぷり使い、駐車場の木のデザインの面白さ、一体感、地域への配慮など都市美を醸し出す要素を多面的に感じさせる。1階壁面の下見板と2階壁面の漆喰壁の組み合わせのバランス、2階バルコニーの手すりや南側バルコニーの木の目隠し壁のデザインなど細部にわたって丁寧な家づくりである。

### 光と風をむかえる家

一ツ橋町



- 設計者： 株式会社 細木建築研究所
- 施工者： 北村商事株式会社 建設部

漆喰壁に南面ほぼ一杯にとったサッシの窓、軒桁の木、コンクリート壁・階段の玄関アプローチ、南面の木の黒塀と駐車場に面する東側の黒の壁面、つり下げ屋根の駐車場、これらの多様な材料の組み合わせとデザインと色彩がミックスされ、和洋の微妙なバランスセンスが絶妙である。新鮮で爽やか、端正な雰囲気を感じさせる。植栽も玄関脇の大きな木と黒塀前の小木、駐車場には竹を配し、都市住宅地の町並みに潤いと調和を与えている。